

## 主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり ～ ICT 機器、「単元計画表」の効果的な活用～

千葉県立千葉特別支援学校 電話 043-257-3909  
FAX 043-257-2226



### 研究のポイント

児童生徒の実態から育てたい力を具体的にイメージした ICT 機器の活用や活用場面を模索・検討し、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに効果的に ICT 機器を活用した。また、「単元計画表」を活用し、授業の計画（P）、実践（D）、評価（C）、改善（A）に継続して取り組むことで、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりの実践を行った。

### ■学校の概要 <https://www.chiba-c.ed.jp/chiba-sh/>

本校は平成3年に創立し、今年度で開校32年目を迎える。千葉市北西部に所在し、千葉市内の3区（花見川区、稲毛区、美浜区）を学区としている。知的障害のある児童生徒が通学しており、児童生徒数は、小学部74名、中学部46名、高等部122名の計242名である。

### ■研究課題

知的特別支援学校における個別最適化の学びの実現に向けた ICT 利活用について実践研究を行う。

### ■研究の目的と方法

GIGAスクール構想の実現に向けて急速に ICT 機器の環境が整備され、ICT を活用した学びの推進及び教職員が多様なツールを活用した校務の情報化が求められている。個々の障害の状態等に応じて ICT を正しく使いこなし、自分らしい生き方をしていけるようにするためには、ICT の利活用による教育の質の向上が必要であるととらえる。そこで、ICT 機器を活用し、児童生徒の学習意欲や興味・関心を高め、適切に利活用した学習の充実を図ることで、個別最適化された学びを実現し、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりを行っていく必要があると考え、以下の方法で実践研究に取り組む。

〈方法〉

- ① 児童生徒の実態から、育てたい力を具体的にイメージした ICT 機器の活用場面を模索・検討し、効果的な活用や児童生徒の変容等についてまとめたり、実践報告会を実施したりする。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の姿を共有し、児童生徒の目指す姿を明確にした、授業づくりや授業改善を行う。
- ③ 「単元計画表」を活用し、学習評価に基づく授業改善に取り組むことで、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりの実践を行う。また、単元計画表の見直しをする。

## ■研究概要

### <研究の成果>

#### (1) ICT機器を活用した授業づくり（実践報告会での共有）

- ① ICT機器に興味・関心をもち、自分から見たり使ったりする等の主体的な姿が見られた。
- ② イラストや写真、動画の活用、背景の色分け等の視覚情報の工夫により、学習内容が理解しやすくなった。
- ③ 気持ちを伝えることや、人前で話すことが苦手だった児童生徒がICTを活用することにより、自分の考えを伝えたり、進行をしたりするなど、表現が広がった。
- ④ 人の動きを見たり、話に合わせたりしながらICT機器を操作するなど、対話的な姿が見られた。

#### (2) 「主体的・対話的で深い学び」の姿の共有

- ① 学部研究会で具体的な姿について協議し、共有することで、児童生徒の目指す姿を明確にした授業づくりをすることができた。
- ② jamboardを活用して協議をすることで、情報共有や記録作成が容易になり、学習評価からの授業改善につなげることができた。

#### (3) 単元計画表を活用した授業づくり

- ① 「単元計画表」を活用し、授業の計画、実践、評価、授業改善に取り組むことで、目指す姿や、支援の方法、評価の観点を共有して授業づくりを進めることができた。
- ② ICT機器の活用について、振り返りができる項目を設けたことにより、効果的に活用できているかを検討することができた。

### <今後の課題>

- ① 単元計画表（PDCAサイクル）を継続して活用し、「主体的・対話的で深い学び」視点から目指す資質・能力の獲得に向けた授業改善をしたり、教科の系統性を検討したりする。
- ② ICT機器を活用し、評価について記録できるようにする。
- ③ 障害の重い児童生徒にとっての効果的なICT機器の活用について検討、実践する。
- ④ ICT機器の活用について、教師の支援技術の向上を図る。  
次年度はこれらの課題をもとにICT機器の効果的な活用について深めていきたい。

## 関連資料

新しい時代の特別支援学校における支援技術活用とICTの利用（編著：金森克浩）